新潟県放射線監視センター年報　研究報告編投稿規程

（平成１７年１２月２０日）

（目　的）

1　この規程は，新潟県放射線監視センター年報研究報告編への投稿について定めたものである．

（資　格）

2　投稿者は新潟県放射線監視センター職員に限る．ただし，共著者はこの限りでない．

（投稿原稿の種類と内容形式）

3　原稿の種類は，以下のとおりとする．

（1）研究報告

原則として原著となりうる報告で，緒言，実験（調査，分析）方法，結果，考察，結語，謝辞，文献等の順とする．

（2）技術報告

実験（調査，検査）結果等を簡潔にまとめたもので，構成は研究報告に準ずる．

（3）技術資料

研究・技術に関する参考資料および解説・調査報告など業務に役立つ内容をまとめたもので，構成は自由とする．

（4）学位論文概要

当該年度に公表された博士学位論文の概要を記載したもの．

（5）誌上発表論文抄録

他誌に発表した論文等を抄録する．文末に発表誌名，巻，頁，西暦年を記載する．

（6）学会等発表論文題名

学会等で発表した演題名，講演会名，年月日，抄録誌等を記載する．

（原稿の執筆）

4　原稿は，原則として1段組とし，A4判用紙に横書き（45字×45行）で記載する．

原稿の種類毎の頁数は，図表等を含め概ね刷り上りで研究報告8頁，技術報告4頁，技術資料8頁，誌上発表論文抄録1／2頁（各以内）とし，記載は別に定める「新潟県放射線監視センター年報研究報告編執筆要領」による．

（投稿の受付）

5　原稿は，内容について所長の承認を得た後，編集委員会に提出する．

なお，編集委員会は，原稿が前項に規定する執筆要領に沿って記載されていることを確認するほか，掲載区分の変更，原稿の訂正等についても協議する．

（校　正）

6　写真製版印刷とするので，原則として編集委員会による校正は行わない．誤植の訂正等，校正が必要な場合は投稿者が責任を持って行う．

（その他）

7　その他必要な事項は，編集委員会と協議する．

新潟県放射線監視センター年報　研究報告編執筆要領

（平成１７年１２月２０日）

新潟県放射線監視センター年報研究報告編投稿規程第4項に基づき，研究報告編執筆要領を次のとおり定める．

（構　成）

1　研究報告は可能なかぎり図表の説明を英文とし，英文要旨（表題，著者名を含む）を付記することが望ましい．

（表題，著者名，要旨の記載方法）

2　原稿は和文表題（主題，副題），和文著者名，欧文表題，欧文著者名，要旨及びキーワードの順に記載する．

（1）表題の欧文の語頭は，冠詞，前置詞，接続詞を除き大文字とする．

（2）欧文著者名は，名，姓の順とし，語頭を大文字とする．

（3）共著者の所属が新潟県放射線監視センターと異なる場合は，氏名右肩に＊を付し，脚注に所属機関名を記入する．

（4）表題，著者名の下に要旨を記載する．欧文要旨の字数は250語程度とする．

（5）キーワードは研究報告の内容が明確に理解されるような語句を表題，要旨等から選び，日本語または英語で3個以上5個以内を付す．

（本文の記載方法）

3　本文の記載は，次のとおりとする．

（1）原稿のレイアウトは以下のとおりとする．

・原稿は，原則として1段組とし，A4横書き（45字×45行）で記載する．

・余白は，上23 mm，下17 mm，左右20 mmとする．

・活字の書体は，見出しを除き和文はMS明朝，英文はTimes New Romanとする．
ただし，図表においては，必要に応じ他の書体を用いてもかまわない．

・活字の大きさは，標題（和文，英文）14ポイント，その他10.5ポイントとする．

・複数著者名の区切りは，和文では「・」とし，英文では「，」とする．また英文では，最後の著者との区切りは「and」とする．

（2）文体は常用漢字，新仮名づかいとし，簡潔で理解しやすい表現にする．
ただし，固有名詞や学会等で用いられている慣用語句はこの限りでない．

（3）文はできるだけ簡潔にするよう心がける．特に同一の内容のことがらについての図と表の重複は避ける．

（4）本文の見出しはポイント方式とする．

例　1.1，1.2，･･･，1.1.1，1.1.2，･･･

最上位の見出しの書体はMSゴシックとし，番号（半角），全角空白1文字，均等割付7文字の順とする．また，センタリングにより中央位置に記載する．

例

1○○○○○○○○○
1　は　じ　め　に
2　方　　法
3　結果及び考察
4　ま　と　め
　謝　　辞
　文　　献

（5）単位は原則としてアルファベット小文字を用いることとし，必要に応じイタリック体を使用する．

（6）読点及び句点は，それぞれ「，」及び「．」とする．

（7）数字は原則としてアラビア数字を用い，英字，数字は半角とする．

（8）図表は，原稿がそのまま写真製版印刷されることを考慮して，原稿中に見やすいようレイアウトする．簡潔な説明を，表では上部に，Table 1., Table 2., 表1，表2，・・・のように，図では下部にFig. 1, Fig. 2, 図1，図2，・・・のようにつける．

（9）文献番号は，本文中に[1)・1, 2)]または[1-3)]のごとく右肩に記す．また，文献名等は本文の最後に一括して番号順に列記する．

なお，著者が5名以下のときは全て列記し，6名以上のときは第一著者名，他（*et al.*）とする．文献欄の記載項目と記載例を次に示す．

ア　雑誌論文

記載順は，番号，著者名，雑誌名，巻(号)，頁(開始頁 - 終了頁)，年号(西暦)とする．なお，雑誌名を略記する場合は，当該雑誌が指定する表現に従う．

また，巻数はゴシック体とし，号数は通巻ページがない場合のみ挿入する．

記載例

1) 古川雅英: 放射線科学, **37**, 425-429 (1994).

2) Eisenbud, M.: Health Physics, **40**, 429-437 (1981).

イ　単行本

記載順は，番号，著者名，書籍名，(編者)，発行所，頁(開始頁 - 終了頁)，年号(西暦)とする．ただし，全巻を引用する場合，頁は省略する．

記載例

和文単行本

3) 北川源四郎: FORTRAN 77 時系列解析プログラミング, 岩波書店, (1993).

4) 小田稔, 西村純, 桜井邦明編: 宇宙線物理学, 朝倉書店, p.290 (1983).

5) 西岡孝明, 加藤博章: 実験化学講座 27(第4版), (日本化学会編), 丸善, p.322 (1991).

欧文単行本

6) Grieder, P.K.F.: COSMIC RAYS AT EARTH, Elsevier, p.131 (2001).

7) Beck, H.L.: The Natural Radiation Environment II (Adams, J.A.S. et al. ed.), U.S. Department of Energy, CONF-720805-P1, p.101-133 (1972).

（その他）

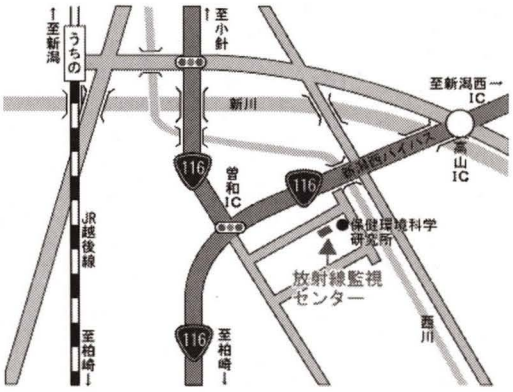
4　その他

（1）カラー写真を掲載したい場合には，あらかじめ編集委員会に申し出る．

（2）学会等で発表したものについては，論文末尾に発表年月日と学会名等を付記する．

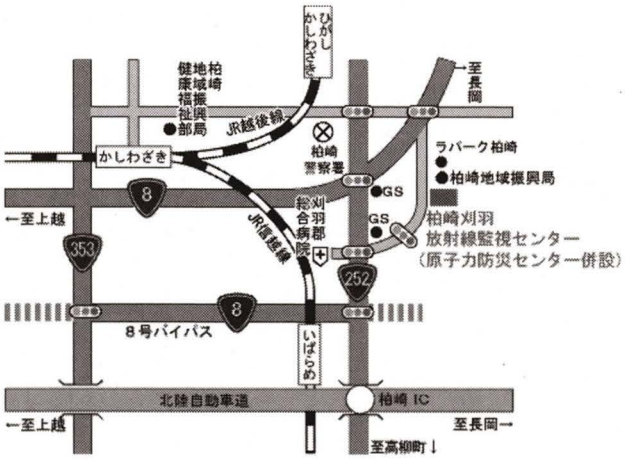
新潟県放射線監視センター

〒950-2144　新潟市西区曽和 314-1
TEL　025-263-9419
FAX　025-263-1348
最寄の下車駅：JR 越後線内野駅下車
徒歩の場合：内野駅から徒歩約 20 分
タクシーの場合：内野駅からタクシーで約 5 分
バスの場合：
　新潟駅から新潟交通内野営業所行き約 45 分「内野四つ角」下車、下車後徒歩約 20 分



新潟県柏崎刈羽放射線監視センター

〒945-0034　柏崎市三和町 5-48
TEL　0257-22-1090
FAX　0257-22-1092
最寄の下車駅：JR 信越線柏崎駅下車
　（徒歩の場合、信越線茨目駅下車）
徒歩の場合：茨目駅から徒歩約 20 分
タクシーの場合：柏崎駅からタクシーで約 10 分
バスの場合：
　柏崎駅から越後交通刈羽郡総合病院（又は岡野町）行き約 15 分「柏崎地域振興局前停留所」で下車、下車後徒歩 5 分



新潟県放射線監視センター年報

第 6 巻

平成 19 年度

平成 20 年 12 月発行

編集
発行所　新潟県放射線監視センター

Niigata Prefectural Institute of
Environmental Radiation Monitoring

〒 945-0034　柏崎市三和町 5-48
電　話　0257 (22) 1090

印刷所　株式会社　文　久　堂
〒 950-0801　新潟市東区津島屋 7 − 29
電　話　025 (273) 8147 (代表)

Annual Report of Niigata Prefectural Institute of Environmental Radiation Monitoring

Vol. 6 2008

Niigata Prefectural Institute of
Environmental Radiation
Monitoring
(December 2008)